4月のほけんだより

平成 27 年 4 月 24 日発行

ご入園、ご進級おめでとうございます。新年度を迎え、ひとつ大きくなった！という喜びと期待いっぱいの笑顔に出会うことができ、とてもうれしく思います。
今年度も健康に気を付けて、1 年間楽しくすごしましょう。

朝の健康観察のお願い～ お子さんにいつもと違う様子はありませんか?

新学期の子供たちは、ちょっと緊張気味です。　特に入園した子供たちは新しい環境に慣れるまで不安がいっぱいです。

元気がない、甘えたがる、すぐ泣くなどいつもと違うなあと思ったら、ゆっくり様子をみてあげてください。

配布させて頂いている体調不良時の対応を参考にして頂き、必要であれば、かかりつけ医に相談してください。

植物のかぶれ、虫刺されに注意しましょう

暖かくなって、外に出かけることも多くなってきています。
植物や、虫に触れることも少なくないと思います。
植物でかぶれたり、虫に刺された時、腫れや痛みが強い、水ぶくれができ、ただれてきた場合は受診しましょう。
また、2-3 日しても症状が改善しない場合は受診しましょう。
蜂に刺されて呼吸が荒くなる、痙攣・嘔吐・発熱、といった症状がみられたら、大至急救急車を呼びましょう。
一度目より 2 度目に刺されたときのほうが危険です。蜂に刺されたことがある場合は、お申し出ください。
蜂の巣を見つけても近づかないようにしましょう。

虫に刺されたときの応急手当

・針が残っていれば抜き、傷の部分をつまみ毒を押し出す。
・細かい毛や粉がついている場合はセロファンテープなどではがす。
・流水でよく洗いながす。
・かゆみが強い場合は抗ヒスタミン成分の入った虫刺され用の軟膏を塗る。
・冷やす。

かぶれたときの応急手当

・服を着替える。
・流水で洗う。
・かゆみが強い場合は抗ヒスタミン成分の入った虫刺され用の軟膏を塗る。
・水ぶくれができているようであればつぶさない。
・冷やす。

園ではヒスタミン成分の入った虫刺されの軟膏（幼児はムヒ、乳児はベビームヒ）を必要に応じ、使用しております。
園の軟膏を使用しないほうがいい場合は申し出下さい。